



夏休み親子環境教室

PARE主催の環境教室にCASAが協力応援して、地球温暖化のお話と、ペットボトルや牛乳パックを再利用した楽しい工作の教室を開催しました。

月日(曜)	会場	工作内容	参加人数	
7. 29(土)	吹田市さんくす1番館	ペットボトルソーラーカー(そらくん)	約35人 内 児童19人	よどがわ市民生協 くらし委員会
8. 2(水)	いずみ市民生協堺東本部	牛乳パックソーラー電車(エコでん)	約25人 内 児童13人	いずみ市民生協 コープ委員会堺東
8. 4(金)	楠根リージョンセンター	ペットボトルソーラーカー(そらくん)	約25人 内 児童12人	いずみ市民生協 コープ委員会稲田もも
8. 10(木)	泉大津市総合福祉センター	牛乳パックソーラー電車(エコでん)	約120人 内 児童54人	泉大津市役所環境課

司会 スタッフ北川さん

地球温暖化問題の話 スタッフ山崎さん

「先日から猛暑が続く、大阪市内など37℃になって人間の体温を超えています。地球温暖化が進んで北極で氷が減ってホッキョクグマが減っています。地球温暖化は人間が産業革命以後作り出してきたCO₂が増え続けてきたことによります。このままではいずれ人類が生存できなくなります。今からでもCO₂を減らし

ていくためには、皆さん一人ひとりが、エネルギーを節約し、環境にやさしいエネルギーを選び、物を再利用しごみを減らすなどの努力をしていただくことがきわめて重要です。」

以上のようなお話に児童も保護者も真剣にうなずいて、子どもさんのなかには「それは地球温暖化です。」と発言する人もおられました。

工作教室 説明 スタッフ 古畑

昨年のペットボトルソーラーカー「そらくん」を今年も引きつづき2会場で行いました。泉大津市といずみ市民生協では、あらたに牛乳パックソーラー電車「エコでん」を作ってもらうことにしました。エコでんは、児童に初めて作ってもらいましたが、牛乳パックをカッターナイフでカットしたり、車輪がよく回るように調整したりするのが難しかったようで、次年度に向けてさらに改良が必要だと感じました。

古畑 等(CASAボランティア)



アンケートから(抜粋)

児童の感想

- ・地球温暖化はだいぶすすんでいるということがわかりました。二酸化炭素の出すぎで温度があがっていること。リサイクルしている。
- ・工作は楽しい。難しかった。動いてうれしかった。おもしろかった。むずかしいところもできた。

保護者の感想

- ・エネルギーの大切さを勉強しつつ、エコに興味を持ったのではないかと思う。
- ・スタッフの方が丁寧に教えてくださり、分かりやすかったです。